

《令和2年度 建設部 組織目標》

◆目標管理者

| | |
|----|-------|
| 技監 | 中安 隆年 |
| 部長 | 寺田 哲康 |

◆部局の役割・目標像

草津市民や草津を訪れる人々にとって、心地よさをいつも感じられ、住みよいまちをつくるため、都市形成の基盤をなす道路、河川、公園、市営住宅の整備を進めるとともに、インフラ資産の適正な維持管理を図ります。

- ◆道路施設や公園施設の長寿命化と適正な維持管理を行います。
 - ・橋梁、舗装、道路附属物や公園遊具等の予防保全に努め、適切な修繕を行います。
- ◆広域主要幹線道路や生活道路・歩道などの整備を進め、安全・安心に利用できる道路空間の構築を推進します。
 - ・各広域主要幹線道路の早期完成、早期事業化に向け国県等に対し要望していきます。
- ◆河川・排水路の適切な整備と管理による治水対策を行います。
 - ・雨水排水路の整備を計画的に進めるとともに、既存の河川・排水路の適切な維持管理を行います。
 - ・県に対し、一級河川の治水対策を要望していきます。
- ◆公園や緑地の整備、活用を通して、安らぎと憩いの場の充実を図ります。
 - ・都市公園(野路公園)の整備を進めるとともに、YMITアリーナにおいて、にぎわいの創出に努めます。
 - ・「第3次草津市みどりの基本計画」の策定に取り組み、公園・緑地に関する課題を整理するとともに、現計画に基づき「ガーデンシティくさつ」の推進を図ります。
 - ・ワールドマスターズゲームズ2021関西および令和6年度の国民スポーツ大会に向けて、グリーンスタジアムの改修を進めます。
 - ・草津川跡地の残る未整備区間の公園整備を進めるとともに、草津川跡地公園のさらなる「にぎわい」と「うるおい」の創出に努めます。
- ◆(仮称)草津市立プールの整備を進めます。
 - ・「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を基本方針に掲げ、市民、県民のスポーツ振興や健康づくりに資する施設として整備を進めます。
- ◆大規模災害に備え、土地(道路、河川等)に係る正確な財産管理を図ります。
 - ・市街地の地籍調査を実施します。
- ◆市民の住まいの安心と安定を支えます。
 - ・公営住宅の供給等を通じて、市民の住まいの安心を支える住宅セーフティネットの構築を進めます。
 - ・改良住宅の譲渡処分により、地域コミュニティの安定を支援します。
 - ・老朽化が進む公営住宅の計画的な建替を通じて、バリアフリー化など、超高齢社会への対応を進めます。

◆職員数および当初予算規模

| 所属 | 職員数(人) | | | | 当初予算規模(千円) | | |
|-------------|--------|-----|------|----|----------------|-----------|-----------|
| | 正規 | 再任用 | 会計年度 | 合計 | 歳出 (職員費を除く) | 特定財源 | 一般財源 |
| 経営層(部長、副部長) | 5 | 0 | 0 | 5 | — | — | — |
| 道路課 | 14 | 1 | 4 | 19 | 1,581,247 | 1,193,032 | 388,215 |
| 河川課 | 8 | 1 | 1 | 10 | 470,645 | 385,951 | 84,694 |
| 公園緑地課 | 10 | 1 | 2 | 13 | 740,010 | 259,566 | 480,444 |
| 草津川跡地整備課 | 6 | 1 | 1 | 8 | 180,696 | 69,002 | 111,694 |
| プール整備事業推進室 | 4 | 0 | 0 | 4 | 449,290 | 439,526 | 9,764 |
| 土木管理課 | 5 | 1 | 5 | 11 | 79,120 | 37,542 | 41,578 |
| 住宅課 | 8 | 1 | 4 | 13 | 330,083 | 236,797 | 93,286 |
| 合計 | 60 | 6 | 17 | 83 | 3,831,091 | 2,621,416 | 1,209,675 |

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

・主要幹線道路における交通量の増加等により慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量が増加傾向であることから、主要幹線道路の整備と、安全で快適な道路空間の整備が求められています。

1 ・道路施設の老朽化や大規模な災害の発生の可能性を踏まえた道路の適正な管理を行うため、道路法で義務付けられた橋梁や舗装、道路附属物の点検・調査を行い、安全・安心に利用できる道路空間の確保を目的とした修繕事業の効率的な取り組みが必要となっています。

2 ・平成25年度の台風18号をはじめ、近年集中豪雨が多発しているなか、市内の河川・排水路の改修を求められています。

・雨水幹線整備については、重点整備による効率的な整備が必要ですが、接続先となる一級河川の整備が遅れ、雨水整備計画の支障となっています。

2. 重点目標

① ・主要幹線道路として整備を進めている大江霊仙寺線南笠工区の整備を計画的に進め、早期整備完了を目指します。

・道路施設については、「事後保全」から「予防保全」や維持管理コストの平準化等への方向転換に取り組み、安全・安心に利用できる道路空間を確保するための点検・設計・工事を進めます。

② ・市内の雨水幹線整備を計画的に進めるとともに、河川・排水路の適切な管理による治水対策を行います。

・「草津市洪水・内水ハザードマップ」を作成し、市民の災害に対する防災意識の高揚を図ります。

3. 目標達成のための取組と成果目標

① 【取組】
大江霊仙寺線南笠工区の整備を進めます。
(事業費 562,380千円 ※令和元年度予算明許繰越)

【成果目標】
整備率 64.4% (令和元年度末:33.4%)

② 【取組】
市道長寿命化事業を進めます。
(事業費 311,869千円 ※令和元年度予算明許繰越)

【成果目標】
長寿命化を計画した橋梁のうち修繕に着手した橋梁の割合進捗率 22.9% (令和元年度末:10.4%)

③ 【取組】
雨水幹線の整備を進めます。
(事業費 431,607千円 ※令和元年度予算明許繰越)

【成果目標】
平成27年度末時点からの雨水幹線整備面積に対する進捗増加率 2.1%
(進捗増加率 2.0% 令和元年度実績)

④ 【取組】
国および県による浸水想定区域図の改定に合わせて、草津市洪水・内水ハザードマップの更新を行います。
(事業費 17,200千円)

【成果目標】
草津市洪水・内水ハザードマップの更新を実施します。

総合計画上の位置づけ

R2
重点施策

分野: 道路・交通
施策: 幹線道路の整備

分野: 道路・交通
施策: 道路施設の長寿命化と維持管理

分野: 防災・防災
施策: 公共下水道雨水幹線の整備

重点①
防災・安全のまちづくりの推進

| 1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など) | |
|---|--|
| 3 | <p>多様なニーズを踏まえた公園・緑地の整備や維持管理を行うとともに、公園等のオープンスペースを拠点としたガーデンシティの推進を図る必要があります。</p> <p>また、ワールドマスターズゲームズ2021関西および令和6年度の国民スポーツ大会に向けて、グリーンスタジアムの改修を進める必要があります。</p> |

| | |
|---|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 草津川跡地公園を魅力ある公園となるよう管理運営を行う必要があるとともに、草津川跡地公園(区間5)「de愛ひろば」については、市民活動および緑の管理活動のさらなる醸成が求められています。 未整備区間について、整備着手に向け取り組む必要があります。 草津川跡地公園(区間2)「ai彩ひろば」の民間活動エリアについて、出店事業者との調整を行い、さらなるにぎわいの創出を図る必要があります。 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年11月に策定した『(仮称)草津市立プール整備基本計画』の基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るため、令和6年度に開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、大会後の利活用を見据えて、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。 昨年度、参加表明のあった全てのグループからの辞退届提出により入札を中止したことから、その原因分析に向けて、事業者からのヒアリングの実施や委託しているPFIアドバイザーからの助言等を踏まえながら、滋賀県とも協議を継続実施し、今後の対応方針を示す必要があります。 |
|---|---|

| 2. 重点目標 | |
|---------|--|
| ③ | <ul style="list-style-type: none"> 野路公園の整備を進めます。 YMITアリーナを活用した賑わいの創出に努めます。 グリーンスタジアムの改修を進めます。 第3次草津市みどりの基本計画の策定とあわせ、現計画に基づき「ガーデンシティくさつ」を推進します。 |

| | |
|---|---|
| ④ | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者、草津まちづくり株式会社等と連携し、魅力的な管理運営を行うことにより、多くの方に来園していただける公園を目指します。 区間6について、栗東市等の関係機関と連携しながら、整備に向けて取り組みます。 草津川跡地公園(区間2)「ai彩ひろば」の民間活動エリアについて出店事業者と調整を行い、官民連携による公園の魅力向上を図ります。 次期整備区間の整備着手に向けて、関係機関との調整を進めます。 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| ⑤ | <p>滋賀県をはじめとする関係機関等との協議を早期に整え、PFI方式での効果について再検証し、再入札の実施に向けた取組を進めます。</p> |
|---|---|

| 3. 目標達成のための取組と成果目標 | | 総合計画上の位置づけ | R2 重点施策 |
|--------------------|---|-----------------------------|---------------------|
| ⑤ | <p>【取組】 野路公園の用地取得を進めます。 (事業費 2,496千円)</p> <p>【成果目標】 野路公園用地取得率 42%(令和元年度末:28%)</p> | 分野:うるおい・景観 施策:公園・緑地の整備 | |
| ⑥ | <p>【取組】 YMITアリーナを活用したにぎわいの創出に努めます。 (事業費 95,499千円)</p> <p>【成果目標】 YMITアリーナ大規模集客事業 年間10回</p> | 分野:うるおい・景観 施策:公園・緑地の整備 | |
| ⑦ | <p>【取組】 グリーンスタジアムスコアボード等の改修を行います。 (事業費 201,509千円)</p> <p>【成果目標】 国際標準を満足する施設等への改修実施</p> | 分野:うるおい・景観 施策:公園・緑地の整備 | 重点⑤ スポーツ健康づくりの推進 |
| ⑧ | <p>【取組】 第3次草津市みどりの基本計画の策定を進めます。 (事業費 9,455千円)</p> <p>【成果目標】 緑の基本計画策定委員会 5回</p> | 分野:うるおい・景観 施策:まちなみの緑化の推進 | |

| | | | |
|---|--|---------------------------|--------------------------------------|
| ⑨ | <p>【取組】 ・草津川跡地公園の管理運営を行います。 (事業費 105,600千円) ・区間6周辺道路の交通改善を図る道路整備の計画内容を検討します。 (事業費 4,550千円) ・区間4JR草津川トンネルの交差部分の道路拡幅の計画内容を検討します。 (事業費 15,800千円)</p> <p>【成果目標】 区間5年間公園来園者数(H25.12策定中心市街地活性化基本計画目標値) 300,000人(令和元年度実績 約520,000人)</p> | 分野:うるおい・景観 施策:草津川跡地の整備 | 重点⑥-2 (リーディング) “まちなか”を活かした魅力向上 |
|---|--|---------------------------|--------------------------------------|

| | | | |
|---|---|------------------------------|---|
| ⑩ | <p>【取組】 ・(仮称)草津市立プールの整備、運営・維持管理をPFI方式で行う事業者を選定します。 ・事業者からのヒアリングを行い、滋賀県をはじめとする関係機関等との協議を早期に整え、再入札の実施に向けた取組を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 449,290千円)</p> <p>【成果目標】 PFI方式による(仮称)草津市立プールの整備事業者の選定、事業契約および事業着手を目指します。</p> | 分野:生涯学習・スポーツ 施策:スポーツ環境の充実 | 重点⑤ スポーツ健康づくりの推進 重点⑥-2 (リーディング) “まちなか”を活かした魅力向上 |
|---|---|------------------------------|---|

| 1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など) | 2. 重点目標 | 3. 目標達成のための取組と成果目標 | 総合計画上の位置づけ | R2 重点施策 |
|--|---|--|------------------------------------|------------|
| <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改良住宅は、入居者の代替住宅として建設したものであり、地域での安定した暮らしに向けて、国の承認を得て、有償譲渡を進める必要があります。 ・令和元年度に草津市として初めて16名の入居者への譲渡処分の国承認が得られました。今後も継続して譲渡処分を進める必要があります。 | <p>⑥</p> <p>有償譲渡を希望される入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。</p> | <p>⑪</p> <p>【取組】 有償譲渡を希望される改良住宅の入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。 ※同和対策本部会議関連事項 (事業費 71,122千円 ※令和元年度予算明許繰越)</p> <p>【成果目標】 譲渡戸数 32戸(19棟)</p> | <p>分野:住宅・住生活 施策:良質な住宅資産の形成</p> | |
| <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展により、公営住宅のニーズが高まっています。 ・本市の公営住宅の多くは、昭和50年代に建設しており、老朽化が進むとともに、バリアフリーの問題など、超高齢社会に備えた適切な更新が必要です。 ・平成29年に改訂した「草津市市営住宅長寿命化計画」において、老朽化した公営住宅の建替を位置付けています。 | <p>⑦</p> <p>「草津市公営住宅建替基本計画」を策定します。</p> | <p>⑫</p> <p>【取組】 建替を予定する公営住宅の再配置や集約化など、今後の公営住宅の適切な整備のため、「草津市公営住宅建替基本計画」の策定を進めます。 (事業費 7,370千円 ※令和元年度予算明許繰越)</p> <p>【成果目標】 草津市公営住宅建替基本計画の策定</p> | <p>分野:生活安心 施策:セーフティネットの充実</p> | |